

視聽覺教育

特集号

資料

1

岡崎市川中学校視聽覺教育協会

# 教材フィルム解説「資料」を出すにあたって

岡崎市小中学校フィルムライブラリーが発足して一年余に及びますが、期間も短かく充分な実践もされていません。しかしこの間の足跡をふり返ってみるに、戦後声を大にして叫ばれた新しい教育が、現場にしっかりと根をおろすためには、どうしても学習の場に視聴覚教材が生きて働くようにしなければいけないことを再認識いたしました。

しかし、教材フィルムとはどんなものであるか、それを学習の中にどう使ったらよいか、或は、施設と備との関係等色々な問題があります。

とくに、学習の場における問題としては、映画使用の場合とかく映画万能に及びがちですが、やはり、学習指導の全体計画から映画の位置づけをはっきりしなげなければいけないと思えます。さらに、映画を単に観せるものとしてのみの考え方から、映画内容についての研究不足等が強く反省されました。

以上の問題はすべて日々の実践を通して解決されなければいけない問題であります。そこで、まず第一歩として、現在当市学校ライブラリーの所有する教材フィルムを、その内容の概略および学習過程への位置づけ、フィルム利用のねらい等について考えてみました。

○ 四十九本の教材フィルムを小学校理科・社会、中学校理科・社会にわけて編集いたしました。これは一応の基準でありまして、指導の内容に応じて最も適切と考えられるフィルムを使用して頂きたいと思えます。

○ 映画の内容については、本資料にのせましたものよりさらに、くわしいものが必要ですが、紙数の都合上最小限に止めました。

○ 学習過程への位置づけ、利用のねらいについては、試案であり、今後の実践を通して種々改訂されなければいけないものであります。従って、これにとらわれることなく、各校の実情に応じて実施して頂き、その結果に基づいて、御校正と御指導をお願いいたします。

尚、この小冊子が、学習計画を立てられる際の、或いは、フィルム研究の、また実践反省の参考資料として使われるよう希望いたします。

終りに及びましたが、この「資料」作成にあたっては、運営委員の先生方はもちろん、とくに理科・社会科主任の先生方の格別のご尽力によってできたことを誌上を通じて厚く御礼申し上げます。



小 学 校 理 科



# 水の循環

一卷 (一一分)

- 一、単元 ・水のはたらき(4)・つゆ時の天気(5)・台風と天気予報(5)・生物の生活(6)・地球の表面と内部(6)

## 二、内容

### 1、映画内容

○水の循環全体の図解

○空気中の水の循環 。水の蒸発、飽和、降下。霧、雲

雨のでき方 。不連続面のにわか雨

○地表の水の循環 。水の流れの変化。地下水と植物

の水あげ蒸散作用。洪水と水の調節

### 2、学習課程の位置づけ

○水のはたらき(4)。川の水はどんなに土地の形をかえるか

。水はどんなに利用されるか

○つゆ時の天気(5)。空気中の水蒸気をしらべる

。雲のでき方、雨のふり方

○台風と天気予報(5)。不連続線風水書

○生物の生活(6)。植物の水の吸収、吸上げ蒸散作用

○地球の内部と表面(6)。川のでき方、地下水、流水の動き

### 3、この映画利用のねらい

○水の循環の意味 ○水の循環の重要性 ○流水を調節する

方法 ○地上、地下の水の動き ○水の動きを人間の

ために役立てるように調節することを、さらに研究させ

# 動物の成長

一卷 (二〇分)

- 一、単元 小一年 どうぶつのおやこ(十二月)
- 小二年 にわとりのかいかた(十月)
- 小六年 生物の生活 (五月)

## 二、内容

### 1、映画内容

○鶏が卵を孵化し、ひよこを育てる様子

○犬が小犬を産み、小犬が一人前の犬に育つ様子

○牛が子を産み、その子が誕生後一ヶ月までの発育の様子

### 2、学習課程の位置づけ

一年では、導入として使用し、これをもとにして各種

の動物の子の世話の仕方と大きく異なる様子を話し合うと

よい。二年では、単元「にわとりのかいかた」の展開中

ひよこの育ち方の時に画面から観察した事実について話

し合い、各自の経験をも併せ話し合って理解を深めるに

使用するとよい。六年では、単元「生物の生活」、小単

元「生物のひかまほどのようにしてふえるか」の展開中

動物の卵、胎生の時画面から観察したこと、各自の経

験したことをもとにして話し合い、この理解を深める

に使用するとよい。

### 3、この映画利用のねらい

鶏が卵を孵化し、犬牛が子を産み、夫々の子が育つ様子を各時期の形態、生態から理解させ、夫々の親が子を思う情を感得させようとしたものである。

# 海辺の動物

一巻 (十分)

一 単元 小一年 うみのいきもの

小二年 うみべのいきもの

小四年 海からとれるもの

## 二 内容

### 1 映画内容

○ 波の荒い外海の海べに、いろいろのいきものが住んでい  
るようす。

○ 波打ちぎわのフジツボ、ヨメガサ、ウノアシ、フナムシ  
タマキビ、イシタタミの生態。

○ 水の中のサンゴのようびイソバナ、ウニ、イソギンチャ  
ク、オニヤドカリ、オヨギイソギンチャク、ワヤリムシ  
タコクラゲの生態。

○ 内海の海岸にいるアサリ、ハマタリほどの二枚貝が砂に  
もぐるようす。

○ 貝の出水管、入水管のはたらき。

○ ビトテの歩き方。

○ 各種のカニの生態 (体より大きい穴をほるスナガニ、オ  
サガニの用心深い食べ方、コタシガニが砂にもぐる様子)

### 2 学習過程の位置づけ

○ 問題把握の段階——現場学習に極めて指導困難ひ要点を  
事前に指導し問題をもって学習させるに適している。

○ 計画させる段階——小動物が潮とどんな関係があるかを

理解させ、海に行く学習の計画を立てさせるに適している。

○ 研究の段階——小動物の細かい観察のさせ方を興味深く  
具体的に説明するのに適している。

○ 整理の段階——海辺学習後、多くの子供の異った研究を  
潮と関係づけて整理し、考えさせるのに適している。

### 3 この映画利用のねらい

○ 潮と海べの小動物が極めて深い関係があることの理解。

○ 外海、内海によって生物の種類や生活の仕方が異ってい  
ることの理解。

○ 注意して観察することが如何に興味あり、大切であるか  
理解する態度が養える。

○ 小動物のもっている器官が、如何に巧みに働いているか  
理解できる。

○ 小動物が如何に環境に適しているか理解できる。

## 手

一巻 (十分)

一 単元 小一年 たのしいしよくじ、きれいなからた。

小二年 たべものとなべ方、うんどうとえいせい。

小三年 よいたべかた。

## 二 内容

○ ある学校の一教室で手についての学習が進められている

○ 子どもたちは手の働きについて色々知っていることを発  
表する。食事をしている手。まりをつく手。おに

ぎりをむすぶ手。じん取りをする手。お金を数え

# 朝 干 狩

一巻 (十分)

る手。メリケン粉をぬる手。雑巾をかける手。  
本の頁をくついている手。彫刻をする手。靴を磨く  
手。りんごをむく手

○知らばいうちにきたばい物を手につけている。ドフに  
落ちたボール。ドフ水を顕微鏡でのぞく。動いて  
いる微生物。フランコにのる子。砂場で遊ぶ子  
。こみのういた池。エビカニ釣をしている子。切  
った爪を顕微鏡でみる(へ虫の卵)。顕微鏡でみた赤  
痢菌とチフス菌。教室のドアを開けて入るトラホー  
ムの子

○もとの教室。めいめい手をひがめる。爪のひた子  
はあわててひっこめる。

○給 食。休み時間の鐘。給食用のバケツを持っ  
た女の子。大男の子が水道の水を出して手を洗う。

## 2. 学習過程の位置づけ

指導方針に依って異なるが学習の導入に用い、観賞後、  
映画をみてどんなことを感じたか、各自の感想を述べ  
させ。1. 何故手がよごれるか(どんな時、どんな所で  
どんなことをした時) 2. 手がよごれると何故悪いか  
3. どうしたらきれいになるか、等をまとめて学習意欲  
を旺盛にし次の段階へ発展する学習後の反省にも好い。

## 3. この映画利用のねらい

不潔にばかりがちの手を常に清潔に保つように心がけ、  
よく手を洗うこと、殊に食前には必ず手を洗う習慣をつ  
けるよう、日常生活を反省させ実践面の指導をする。

一、単元 小一年 うみのいきもの

小二年 うみべのいきもの

小四年 春といきもの

小四年 海からとれるもの

## 二、内容

### 1. 映画内容

○潮の引いた後に色々ば生物が生活しているようす。

○やどかり、いそぎんちやくの生態。

○潮のひいたあちこちの水溜りにトロメヤ、小はせ等が集る。

○コフシカニ、スナカニの生態。

○シオフキ、はまぐり、また貝の生態

○朝のみちてくるようす。

### 2. 学習過程の位置づけ

○学習の導入

○学習後の整理

(朝干狩の事前又は事後の指導)

### 3. この映画利用のねらい

○潮の干干によって着しく環境が変化する砂浜には、そこ  
に定住した生活をする種々ば生物が生育していること。

○小動物はそれぞれの方で自分の身を守っている。

○干がたに住むいろいろば生物はどんな方法で食物を得て  
いるか。

# 野山の小鳥

一巻 (十分)

- 一、单元 小二年 とりのひかま、小五年 動物のすみか  
小三年 どうぶつの生活、小六年 生物の生活
- 二、内容

## 1. 映画内容

- 富士山麓の鳥——春から夏にかけては百種以上いる。
- あかげらの棲息場所と性質——木のうえ、用心深い。
- うぐいすの棲息場所——竹やぶ、小さな木の中
- おおまいの棲息場所——がけのくぼみ
- 他の鳥の巢に卵を生む鳥がある。
- こるんの巢にじゅうにしが卵を産む、こるんのひび、大きいじゅうにしひびにおし出される。
- 鳥は体を洗う。
- 鳥の食べ物
- 愛鳥

## 2. 学習過程の位置づけ

二年生では導入として使用しこれをもとにして、色々々鳥の生活について話し合うとよい。三年では画面から観察したことについて話し合い、他の鳥についてこのようひ点を観察し話し合うとよい。五六年では整理の段階として映写するがよいと思う。

## 3. この映画のねらい

夫々鳥によって棲む場所がちがひ、種族を保護するにむに斗争が常に行なわれている。小鳥は人間にとって役に立つことが多く、愛鳥の精神を養うようにすべきである。

# あぶら蟬の一生

一巻 (約十分)

- 一、单元 小三年 虫のいっしゅう  
小四年 夏のしぜん (野山ではどんひ生きものが  
見られるか)
- 二、内容

## 1. 映画内容

せみほどのように変って行くかを、あぶら蟬によって観察したもの。

- 親蟬が樹に産卵
- 土中に下りる
- 一年後の生活

○三年目に細い根から太い根にすみつく

○五年——六年褐色に変わる

○七、八年の長い土の中の生活を終って地上に出る

○脱皮(夜の間に三、四時間かかつて)

○朝羽根もかわき立派な親蟬にむる

## 2. 学習過程の位置づけ

○蟬の育ち方や環境食物等との関連の観察の導入として。

○蟬の成長について理解させ、整理をする。

## 3. この映画利用のねらい

○蟬の発生や発育について継続的に観察し、生物が子から親にむるまでの変化を理解させ、気温、環境、食物などの関連を考察し、研究的態度や生物に興味をもつ態度を養う。

# あけはちよう

二巻 (二十分)

一、 単元 小三年 ちようとかえる

小四年 野山のいきもの

二、 内容 1. 映画内容

○ちようが、野山をとび廻る有様

○あけはちようの産卵の様子や其の木

○卵から、成虫へと生長する過程の変化

○さなぎから蝶にびるまでの有様

○冬ごし、及び花との関係

2. 学習程の位置づけ

○三年生ちようとかえる——もんしろちようの育つ様子を

この映画と関連させて知らせる。

○四年生野山の生きもの——もんしろちようの様子や青虫

から蝶になるまでの変り方の観察の仕方、その興味を持たせる。

3. この映画利用のねらい

○蝶の生態、卵↓幼虫↓脱皮の仕方。

○どんむものを食べるか。

○卵から成虫までの日数。

○蛹の時の他の虫類(蜂、はえ)の卵を産みつけられると

どうなるか。

○冬越の有様。

○自然のいとよみの巧妙さを感得させる。

# かとぼうふら

一巻 (五分)

一、 単元 小四年 じようぶひからだ

小六年 伝染病の予防

二、 内容 生物は、どこで、どのように生育するか

1. 映画内容

○「か」は伝染病を媒介する。血を吸うのは、めすである。

○発生「産卵」↓「ふ化」↓「運動、食餌、呼吸」

○卵はどんな所にうみつつけられるか(木のある所はら)

○駆除は「ぼうふら」のうち。

水にまりを無くする。薬剤撒布

○七日—十日間に回脱皮して「さなぎ」にびる。

○三日後成虫とびつて水面に出る。

2. 映画利用のねらい

この映画は日常見ひれた「か」を通して、昆虫に対する

生物学的な理解を深めると共に、「か」と人生の関係や

「か」の駆除法を理解させようとするものである。

【参考】○昆虫の完全形態。

○「か」の種類と、どんむ病気を媒介するか。

○「か」はどんな所に産卵するか。種類によってどう違うか。

○「ぼうふら」の呼吸、食餌

○水面に石油をまくと、どうなるか。

○「か」を駆除するには、どうしたらよいか。

# 蛙とおたまじやくし

一卷 (五分)

一、单元 小三年 池と小川

二、内容

1、映画内容

○いろいろな蛙と産卵のようす。

○青蛙の卵が蛙になるまでの変化を時間的に示す。

○食用蛙について

2、学習過程の位置づけ

○実際に飼育観察し、その結果のまとめとして利用するのが望ましい。

○継続観察の不可能な場合は、理解を深めるに用いる。

3、この映画利用のねらい

○蛙の産卵から、卵、おたまじやくし、蛙となるまでの変化の過程を学習する。

○いろいろな蛙の生態の初歩的な学習する。

は  
九

一卷 (八分)

一、单元 小四年 病気にかからぬようにするには、どうしたらよいか。

小五年 料理をするにはどんな事に気をつけたらよいか。

小六年 伝せん病は、どのように防げるか。

二、内容

1、映画内容

○産卵

○蛹からはえになるまで

○はえの生態

○はえの生態をとるようす

○パイ菌の運び役をするはえ

2、学習過程の位置づけ

○四年「うつる病気」のまとめとして伝染病菌が運ばれる

具体的事例として取り上げる。

○五年「料理のえいせい」パイ菌は食べ物から生まれ食

べ物から人体に運ばれる。そのもとと台所で、そこを清

潔にしなければならぬ必要をはえの生態を示し、認識

させるによい。

○六年「清けつとじようぶがからだ」との関係の中に重要

な立場をもつはえを、まとめとして扱いその観察実験の

中から、我々の敵であることをはっきり知らせる。

3、この映画利用のねらい

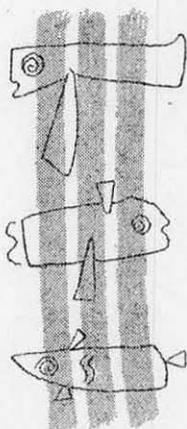
伝染病菌の代表的媒介者であるはえ(いえばい)につい

て特に成長の過程とその生態を、観察と実験を通して明

らかにしたものである。

○幼虫(蛆)の生態

○得盤のついた脚





小  
学  
校  
社  
会



# 私たちの学校

二巻 (二〇分)

一、单元 五年 五年生になつて

六年 六年生の務、政治と私たちの生活

二、内容

1、映画内容

○運動会を生徒の手で行うことになつた。

○議長、委員の競争の進め方、態度

○民主的な政治組織における代表者の態度

○採択における委員の態度

○生徒の非協力が仕事の進行をおくらせ、成果を防げた。

○多勢の意見は必ずしも正しくない。

○各部の有機的な活動

○学校の自治活動は、日常の学校生活の建設にも活動する。

2、学習過程の位置づけ

○五年生になつて(四月)

○学級組織の計画や学校生活の自治的な活動について

○六年生の務め(四月)

○学校の組織や機能についての理解、児童会の運営

○政治と私たちの生活

○政治に対する考え方

3、ねらい

政治に対する学習を展開して行く場合の教材の一つとして製作されたもの。

# 都市と水道

二巻 (二〇分)

一、单元 三年 天作川と上水道

二、内容

1、映画内容

○都市の生活と水

○取入口→貯水池

○浄水場

○水道使用量

○水道管の修理工事……苦勞

○給水対策

○ダムの建設

2、学習過程の位置づけ

○三年 天作川と上水道(六月)

○都市生活ではどのように水を消費しているか

○都市生活はどのように豊かになるか

○水はどのようにして送られるか

3、ねらい

自然と人間生活との深い関係を知ると共に、川の利用、特に水道がどのようにして、家までくるかを知らせたもの。その際には、当局者の苦勞のあることを知り、水を大切に扱うことを考える。

# 手工業

二巻 (四〇分)

一、單元 小五年 日本の工業

二、内容

## 1. 映画内容

○陶器を作る一番古い方法

。陶土の運搬・こねる・形を作る

。皿に絵を画き・サマと共にかまの中に積む

。焼き上げる 出末た製品の陳列

○少し進んだ生産方法

。瀬戸市の遠望

。或る工場の説明 人員構成及規模

。電力利用の状況 ロックの転回

。問屋の注文により型と材料を準備する

。分業制である故それぞれの人々に主人が説明する

。各取人の仕事の様子

。素焼 釉薬を付けての本焼の様子

。出荷と問屋の店先の様子

○能率化した流れ作業による生産方式

。工場の全景

。ベルトコンベヤー方式による皿の絵付作業

。工場直営の粘土山と機械化による採土

。製土工場の様子

。成型工場の様子

。乾燥棚の陶器類

。トンネルがまの様子

。生産品は此の工場の販売部で消化が企画される

。貿易物資としての取引積出しの状況

○更に進んだ生産方法への方途

## 2. 学習過程の位置づけ

○五年日本の工業単元に於いて工場の発履史を学習するのであるが手工業のみでなく分業から更に一貫した流れ作業の能率ある様子、及び動力利用等について対比させる

特に当単元にて終結的に利用したらよいと思う。

3. 此の映画の利用のねらい

○此の三つの生産方式より合理的生産の意義を把握させる

従って此の三つの方式を対比する事により何故此の様な

方式によって生産されていたかという映画外の状態を推

理すると共に今後の工場生産の高度なる合理化を計る心

構えを養成する。

流れ作業

二巻 (二〇分)

## 流れ作業

二巻 (二〇分)

一、單元 五年 日本の工業

二、内容

## 1. 映画内容

○流れ作業の概念を手える自動車製造の工程

○自動車の複雑な部分

# 鉄道電化

二巻 (二〇分)

一、單元 五年 発明発見と産業の発達

二、内容

1. 映画内容

○福島——米沢四十軒電化前の列車の運行状況

○電化の過程

測量——必要物資の集積——トネルの改築——電線をかける——電話線——機関車庫——蓄機庫の試験——試運転

○電化完成後の状況

学校がすむとすぐ帰れる、乗務員の苦勞減少煙になやまされない、二万トンの石炭節約二時間半かかったのが一時間で行かれる。

2. 学習過程の位置づけ

○産業の発達に交通と重大な関係のあることを考えさせてから、この映画をみせる

3. この映画利用のねらい

○電化は何故行われなければならぬか、その工事はどういう風に行われるか、そして電化は、われわれにどのような影響を及ぼすかを板谷峠電化の記録を素材として作られている。

交通の発達、産業の発展、文化の向上三者の関係を考察させる。

- 車軸の工程、鋼材の鍛造より工作機械で仕上げられる
- エンジンの工程、鋳鉄が鋳造、機械各工場を通される
- 車体の工程、鉄板がプレス工場組付工場を過ぎ出末る
- 各部分が並行して進められ総組立工場に流れ集る
- 流れ作業は各部分がなめらかに短時間に大量に生産する
- 近代生活は大量の自動車を必要とする
- 日常必需品は皆流れ作業で早く多く作られる
- 作業は簡単な作業に細分、分業すれば時間が短縮される
- 工場全体の配置も時間短縮を考えてされる
- 流れ作業では各個人が重要な役割を分担していく
- 自動車は多くの関係工場を持ちその協力を必要とする
- 工業の発達には多くの産業交通運輸と密接に肉連している

2. 学習過程の位置づけ

- 五年日本の工業の工場の見学をするの單元中、生産の工程及び機械と分業の学習活動の一過程に入れる
- 工場見学前自動車を例とした流れ作業大量生産を理解して実際に演習活用させる

3. この映画利用のねらい

- 自動車工業のみならず近代工業は総て流れ作業の生産方式で行われている、時間短縮のための工夫をし箇条書きにする、自動車ではどの材料によるか列举、話しあいをする、他の産業との関係についても調べ、その工場見学の計画も特質を把握させて立てさせてみる

# 坊やの世界一週

一、單元 六年 世界と結ぶ

六年 世界と新しい日本

二、内容

## 1、映画内容

○欧米旅行中の父がその子供の夢の中で見聞を語り始める。  
○アメリカ合衆国

。ホノルル（明るい町、住みよい町、果物の豊かな町）

。サンフランシスコ（金門橋、商業の町、アメリカの裏門）。

。ニューヨーク（摩天楼、ブロードウェイ、アメリカの表玄関）。

○イギリス

。ロンドン（バッキンガム宮殿、市内バス、銀行街、ロンドン塔）。

。オックスフォード大学。テムズ川。ボートレースの町

○フランス

。パリ（エッフェル塔、凱旋門、コンコルド広場、ルーヴル博物館、ノートルダム寺院、ベルサイユ宮殿、リュクセンブルク公園）。

。セーヌ川

○ドイツ

。ベルリン（戦災跡、復興の姿、国境線の検閲）。

。ボン（首府、静かな美しい町）。

俗

○スウェーデン

。ストックホルム（失業者のない豊かな町）

○スイス

。山紫水明の地。文化と平和の国。山麓観光地。チューリヒ。登山列車。豊かな国。ヨーロッパの公園

○イタリア

。ミラノ（ゴチック建築）。ミケランジェロの彫刻。ベニス（水の都、ゴンドラ）。ローマ（美しい町静かな町）

## 2、学習過程の位置づけ

○單元「世界と結ぶ」に於ては、一、世界地図を読んで話しあうという所で利用することが効果的である。

○單元「世界と新しい日本」では、二、外国の文化や芸術の話しを聞くという所に利用出来る。

○その他欧米に関する取扱いの導入に利用できる。

## 3、この映画利用のねらい

欧米旅行者が一度は立寄るであろう主要地を、文化、観光の面を中心として概観したもので、動く絵がき式に描いてある。欧米各地の景観を視覚的に把握させるのに適切なものである。

## 発 電 所

二巻 (二〇分)

## 1. 映画内容

○村と川沿いの部落を俯瞰してあらわす

○東京の電化区域を走る電車

○線画で東京附近の地図、東京と新潟の地図及び新潟県

千手町附近の地図

○千手発電所と川崎火力発電所

○蒸気機関車と鉄道電化をすすめるための発電所建設

○千手発電所の放水路ダム

○線画で落差を作るについての説明

○発電所建設の急の測量をする人とその設計図（数枚）

○水路、水槽、水圧管のトンネル工事

○発電所の建物と発電機組立

○建設工事場の大観と工事専用列車

○発電所の建設と変圧器の大字しを見せる

○発電所建設の急の土木工事場の内容とその様子

## 2. 学習過程の位置づけ

五年いろいろな資源の中の水力発電の現状と電源開発について話しあうの学習活動の過程に入れる。

日本の発電量と電源地をしらべる及電源開発について話しを聞くに利用し、発電所建設の実際を見る。

## 3. この映画利用のねらい

家庭にも、工場にも、鉄道電化にも多くの電気が必要であ

り、その電源の開発にはどんな努力が拂われているかを知り、進んで節電に協力し、又電気事業の重要性を知る。

## 工業とその資源

二巻 (二〇分)

一、単元 五年 日本の工業

二、内容 1、映画内容

○日本パルプ工業の現状と、その原料について

○日本国内の産業に於ける、パルプ工業の位置、およびアジア、世界に於ける位置

○パルプ工業発達の自然的、社会的条件について

○パルプ工場における電力、石炭使用の現状、および他産業との関係

○小規模の碎木パルプ工場の生産に相当依存している現状について

○化学パルプの生産量はアメリカに比べて量、質ともに劣っていること。

○施設の拡充のほか植林の必要、原木の種類の問題、原料工業などの問題などがあること。

## 2. 学習過程の位置づけ

○五年単元「日本の工業」の展開に当り、小単元「日本の工業統計をよみ四大工業地帯をしらべる」のところで、

日本工業の種類別の産額や主要産地をしらべる学習の展開に当り、本映画を使用して、必要な資料の蒐集、問題

点、成立条件などをつかまざる。

3. この映画を利用するねらい

3. この映画を利用するねらい

- 日本産業の中に於ける、パルプ工業の現状を理解させ、国内・アジア・世界における位置を知らせる。
- パルプ工業と他産業との関係に気づかせる。
- パルプ工業成立の自然的・社会的條件の理解
- パルプ工業を発展させるための諸問題に気づかせる。

## けいさつの仕事

一巻 (二〇分)

- 一、単元 二年 私たちの近所
- 五年 楽しい安全な生活

### 二、内容

#### 1、映画内容

- 部会の生活風景
- 交通のほけしい大通り、自動信号器
- 交通のはげしい交差点で交通整理をする警官の姿
- スピード違反の自動車を追跡して注意する白バイ
- 街を警邏している警官
- 往來でボール遊びをしている少年
- 歩道一ぱいに荷物を散らしている店頭
- 派出所における警官の仕事
- 新聞の社会面に掲載された犯罪記事
- 警察署の内部・調室 通信室 通信指令室
- 事件発生でパトローラーの活躍する様子
- 私服刑事のはたらき
- 警察本部 鑑識課 指紋室内部 手口カード保管室

- 交通事故数を示す統計 犯罪数を示した統計
- 2. 学習過程の位置づけ

#### ○二年生の場合

- 身近な生活経験の中で、わたしたちの生活現実には警察の仕事が必要としていくことの認識

- 大衆の生活の安全を維持するために、警察官は計画的にはたしている事実の理解

#### ○社会全体の協力の必要の理解

#### 五年生の場合

- 交通事故・犯罪の統計を見てそれらの原因は大衆の不注意にある。従って社会全域の協力なしには、社会の安全を維持できないことの理解

#### 3. この映画の利用のねらい

- 公共のために働く人々に感謝し、いつでも進んでその人々に協力できるようにする。
- 警察官・消防にたずさわる人などは、わたくしたちを安全にするために働いている
- 社会の秩序を維持するためには、個々の人々の協力による。又これらの制度はすべて人を幸福することにある。

## ゆうびん

- 一、単元 二年 郵便屋さん

### 二、内容

#### 1、映画内容

- 山の小学校の教室へ東京に転校した山本君より手紙がくる。



# 小売店の仕事

二巻 (二〇分)

- 山本君の手紙によって東京の学校生活が紹介される。
- 東京の学校に植物標本のなじのを知って山の学校の田村君たちが山へ植物採集に出かける。
- 東京の学校に小包がとどく。それは山の学校から送られた植物標本である。

- 一、単元 二年 秋から冬へ（近所のお店しらべをする）  
五年 新しい商業（交易の仕方やそのうつりかわり）

## 二、内容

- 山の学校に東京の絵はがきが送られてくる。
- 東京の学校に山の友だちから作文集が送られてくる。
- 作文集を読んだのち、お礼に品物を送る相談をし準備を始める。

- 小包をもって郵便局に行き山へ送る。

- 窓口。消印（手及び自動消印機）。手紙の区分け。配達管から袋へ。トラックで駅へ。郵便車とその内部。山の郵便局へ。配達

- 1、映画内容
- 小学生が郊外で写生をしている。 ○ 次郎の店
- 良い品を安く仕入れるために廻り問屋と話している。
- 文房具問屋（生産者－問屋－小売店の関係）
- 仕入れについてのおとうさんの話。
- 次郎の店
- 商品の陳列。小売店のもうけ。サービス。客への応待
- 宣伝広告等を示している。

- 山の学校では送られた顕微鏡をかこみ大喜びをする。
- みんな顕微鏡でみるものをさがしに行く。
- 2、学習過程の位置づけ。

- 手紙について話し合う。……導入として利用できる。

- 郵便ごっこをする。

- 郵便局の見学をする。……見学の前又は後に利用できる。

- 手紙の紙を話しあう。……ここで利用するのが最もよい。

- 葉書の書き方を練習する。

- 3、この映画利用のねらい。

- 郵便が、人と人の心の交渉を、距離をこえてむすびつけるはたらきをもっていることを理解させる。

- 郵便局の機能と郵便経路に見られる各機関のはたらき

- 概要について理解させる。

- 3、この映画利用のねらい。

- 2、学習過程への位置づけ。
- 二年「秋から冬へ――近所のお店しらべをする」では、お土産さんは品物をどこからもってくるかを話し合う場合の素材とする。
- 五年「新しい商業―交易の仕方やそのうつりかわり」では、生産者より消費者までの経路について話し合う場合この映画を中心として考察を進める。また、物を買う時の注意を話し合う場合には、消費者としての立場から、この映画を話し合う材料として使用する。



この映画は消費機構の問題のうち、小売店の意義または位置づけをねらいとして使用される。さらに、信用の問題、デパートその他の位置づけ、或は、消費機構の根本問題等は、この映画からの発展したねらいとして取扱われる。

## 青果市場

二巻 (二〇分)

一、単元 五年 新しい商業

二、内容

### 1. 映画内容

- 町には方々に八百屋があつて、消費者の需要をみたしている。
- 消費者は新鮮で安い物を要求している。
- 八百屋は消費者の要求をみたすために、朝早くから市場へ品物の仕入れに出かけていく。
- 生産地からいろいろな野菜が青果市場に送られて来る。
- 八百屋は品物の仕入れに細かい注意をはらっている。
- 市場にはいろいろ係りがあつて、それぞれの仕事を分担し、手ざわよくすすめている。
- 市場は迅速をたつとぶ。
- 生産者と消費者の中間に位する市場の役割を示す。
- 出荷組合は生産者と市場との間を連絡する役割を果す。
- 品物の偏枉を自然に調節する市場の機能を示す。
- 生産者にとつても、消費者にとつても市場はなくてはならぬものである。

- 生産者は市況をしらべて、次の出荷の方針を立てる。
- 生産地から市場まで野菜はどのようにして送られて行くか。
- 生産者は利益を得たい。消費者は新鮮な物を安く買いたい。この両者の希望を一致させるには、どうしたらよいだろうか。

### 2. 学習過程の位置づけ

- 交易の仕方やそのつりかわりをしらべるといふ単元を生産者より消費者までの経過を理解させるために最初に使ふ。
- 私たちは物をどのように手に入れていくかの理解に適宜使ふ。

### 3. この映画利用のねらい。

- 生産者より消費者までの経路を理解させる。
- 生産者、出荷組合、市場、商店の働きを理解させる。
- 合理的な物の買い方を理解させる。

## 火事をなくする仕組

二巻 (二〇分)

一、単元 二年 秋から冬へ

五年 楽しい安全な生活

二、内容

### 1. 映画内容

- 今まで日本各地でおこつた大火の事例
- 火争をなくするための働きについて
- 或る町の消防施設

○消防のための近代的な仕事の手例

○消火に協力している人々の切ぎの手実

○消火のさまたけになつてゐるものの争例

○消火の施設を充実させる仕事をしてゐる手実

○町の人たちの非協力無関心の手実

○各自の協力について

## 2. 学習過程の位置づけ

○第二学年「秋から冬へ」の単元に於ては、小単元「火の用心」の展開に際しての導入に用い、児童に問題意識を抱かせ、学習内容の概観をさせる。

○第五学年「楽しい安全な生活」の単元に於ては、小単元「郷土における火災防止についてしらべろ」の学習内容の中の、郷土や日本の火災件数、被害高、原因、防火、消防の現状などを、調査理解するに当つて、本映画を資料蒐集の対象として用いた。

## 3. この映画利用のねらい

○社会生活に於て、火事は大きな不幸をもたらすものであることの実感。

○人々は防火の必要を痛感してゐる。消防署はこうした社会の必要を満すために作り、防火を専門の仕事としてゐることの理解。

○然し、防火の仕事は、消防署の人たちの力だけでは困難であり、社会の人々の関心と協力が根底にならなければならぬことへの理解。

○災害は、社会の人々の無関心や非協力がその原因となつ

てゐるから、ほんとうの防火は、社会の人々の自覚の上  
に立つて、もっと大きな社会の組織的な活動が必要であ  
ることに気づかせる。

## 魚のとれるまで

二巻 (二〇分)

一、単元 二年 青物市場や魚市場を見学する。

五年 発明発見と産業の発達について考える。

五年 日本の農業と水産業

## 二、内容

### 1. 映画内容

○暖流魚と寒流魚

○魚獲方法 遠洋漁業の方法―底引網とはえなわ

○魚獲物の整理と貯蔵―冷凍

○陸地との連絡―無電 ○魚場を発見するには

○掃港―漁獲物を列車へ

○貨車―魚市場―荷車をひく魚屋

### 2. 学習過程の位置づけ

○二年では魚が漁師から児童の手へ渡るまでの経過につい  
て話しあつた後これをみせる。

○五年では整理の段階でみせる。

### 3. この映画利用のねらい

○勤的な漁業をとり上げ、船港貨車取等尺、平易な中にも  
基本的な分業の有さまと、魚獲方法を理解させ、漁業方  
法の発達を知らせる。

# 電信のはたらき

二巻 (二〇分)

一、単元 小六年 報道機関の働き

二、内容

1. 映画内容 「私達の生活に必要な通信はいかに行われているか」を通信社の活動を通じ、山村と都市の結びつきを描いて児童に知らせんとしている。

○引揚船のことと新聞にのったいどうしてわかったか

○無電 引揚船から海岸局

○印刷電信機 海岸局から引揚機護局

○新聞 全国へ

○岐阜の山奥 山田家―二郎君の引揚を姉に知らせる。

○電話 村の郵便局から隣の町の局へ

○無電 隣の町の局から東京の中央局へ

○電送管 東京郡内

○引揚船が港へついた。

○携帯無線電話 新聞社の活動、支局へ。

○模写電報 写真電送 支局から本社へ。

○電報 二郎君と留守宅

○列車内の電報

2. 学習過程の位置づけ

○学年に応じ指導目標によって位置づけも多少のかわりはあると思う。

○電信は近代的通信機関のうち、どちらかといえば児童の身近かな生活の中で経験しているといえ、自覚的なものではないじがってわづかなこの経験を足がかりとし、このフィルムを教材として問題をひろげ理解を深める様に利用するのがよいのではないだろうか。

3. この映画利用のねらい

○電信のはたらきを知らしめる(生活様式社会組織と関連)  
○私達の生活が物質的にも精神的にも相互に依存し合っ

形づくられているという人間関係を知らしめる。  
○尚学習時の目標によっては、劇的構成であるから劇のすじを追うことに留意したい。

# 炭坑の人々

二巻 (二〇分)

一、単元 五年 日本の工業

二、内容

1. 映画内容

○炭坑の全景

○機械設備

○採炭のようす

○炭坑に働く人々の家庭のようす

2. 学習過程 の位置づけ

「工業発達の諸問題について考える」の場合、炭坑を単に採炭の方法や他産業との関連のみでなく、炭坑の全体機構について考える様、導入としてこの映画を用いる。

3. この映画利用のねらい

採炭の実際とそこに働く人々の実態を理解する。即ち、炭坑の人々の家庭の状況や、厚生施設などについて考察することによって、工業発達の条件としての労働条件について考えさせるようにしたい。

また、この単元に於ては、機械設備に眼を奪われ人の問題はとかく忘れられ易い点を、この映画はよく補っている。

中  
学  
校  
理  
科

# ラジオの話

(二十一分)

一、单元 三年 科学は通信にどのように応用されているか。

(電信電話ラジオ)

## 二、内容

### 1. 映画内容

○NHKアナウンスの実際(ニュース、株式市況、天気予報等)

○電気は文化生活の根源である

○野球実況のアナウンスの方法

○ラジオの社会的役割について

○全国NHK放送局の分布について

○ラジオの原理について

○スタジオの風景

○マイクロフォンの役目と変調について

○受信機の原理と実際について

三球の配線図と原理の解説

コイルとバリコンによる同調原理

同調、検波、増巾の説明

○スーパーヘテロダイン方式の受信機について

○受信機製造の工程と工場の流れ作業

### 2. 学習過程の位置づけ

三年通信の電話電信ラジオの単元の導入として上映して以後部分的に使用することが効果的だと思ふ。

とくに変調同調検波の理論と実際は最も理解し易くできてゐる。

専門用語が多く出てくるから説明を必要とする。

原理については分割して指導することが望ましい。

この映画は主としてラジオの原理であるが、電話の原理も一部取扱っている。

### 3. この映画利用のねらい

今日私たちの生活からラジオは取り除くことはできない。

それほどラジオは必需品になっているがこのラジオがどのような装置で放送され受信されているのだからかを知ると同時にラジオの取扱いについての注意力を養成したい。

○電話は音声電流によるものであるが、電波は高周波とい

って極めて振動数が多い電流であること

○放送局には高周波をつくる発振器がある

○凡ての放送はマイクロフォンで電気の流れに変え、増巾

器に送られ増巾された電流は、送信所で高周波電流とま

ぜ合わせて変調する。この電流はアンテナから空間に伝

播される。

○同調の原理について(バリコンとコイルの働き)

○検波作用について(低周波電流だけとり出す)

○スーパーヘテロダインについて(電波を一定の中間周波

数に変えて能率よく増巾することによって分離感度をよ

くすることができる)

以上の諸点について理解させたい。

くすることができる)

以上の諸点について理解させたい。

# 蛔 虫

二卷 (二〇分)

一 単元 二年Ⅱからだのはたらき

三年Ⅰ科学の研究は生物の改良にどのように役立つか。

二 内容

## 1. 映画内容

○ 蛔虫は日本人の七〇%にも寄生している

○ 蛔虫の一匹の雌はどれほどの卵を持って、いるか解剖して調べる

○ 都会の糞便の処理 汲取りからトラック、船、汽車で運搬され、大部分は農村で肥料として用いられる

○ 蛔虫卵の発生 卵割から仔虫まで

○ 蛔虫はどのようにして感染するか 野菜畑から家庭へ

雨、風、学校の廊下、下駄箱、浴場とあらゆる場所に撒き散らされ感染する

○ 身体の中に入った蛔虫の生活

○ 蛔虫を駆除するにはどうしたらよいか、検便と集団駆虫

## 2. 学習過程の位置づけ

二年単元Ⅱ「からだのはたらき」の中の単元「寄生虫はどのようにしてたいじるか」に於て、蛔虫の寄生経路をはつきりと理解し、どうしたら蛔虫を駆除できるか」に対する解答を与えるものとして利用できる。又三年単元Ⅰの中の単元「私たちはどの様な法律をつくり研究所などを設けて健康の維持増進につとめているか」に於て蛔虫も各種

伝染病と同様、社会全体の協力によらなければ駆除できないことを理解させるのに役立つと思う。

## 3. この映画利用のねらい

わが国は、蛔虫の寄生率が非常に高い。蛔虫の害は稀には目に見える激しいものもあるが、多くは知らずにいるものである。個人的にも社会的にも、蛔虫のいる状態はよいものではない。

蛔虫をなくするにはどうしたら良いか。糞便を完全に処理することが大切だが、今の日本では不可能である。先ず一人一人が駆虫する事が第一である。しかしたとえ駆虫しても感染の機会はいたる所にある。駆虫も社会が気を揃えておこなわなければならぬ。

蛔虫はどんな害をするか、どんな感染経路をとるか、をしかり理解して、感染しないよう注意すると共に、一人の蛔虫保有者が、如何に社会に対して大きな迷惑を及ぼすかを知り、公衆衛生の立場からも、蛔虫に対して深い関心をはらわなければならぬことを知らしめる。

# 凸 レンズ

二卷 (二〇分)

一 単元 二年 熱や光は近代生活にどのように利用されているか

三年 科学によって見える世界はどのように広がったか(以上「私たちの科学研究」)

光と光学器械(中学理科)

二 内容



## 1. 映画内容

○日常みかける光学現象のいろいろ

○光の性質（直進、反射、屈折）

○プリズムによる光の屈折と凸レンズ

○凸レンズの性質（光を集める、焦点と焦点距離）

○平行光線、発散光線と凸レンズ

○凸レンズのつくる像（写真機）

○眼のはたらき

○物の大小、遠近と視覚

○虫メガネの拡大作用

○凸レンズと光学機械

## 2. 学習過程の位置づけ

二年の単元4の光にほどのような性質があるかのとこで光の性質、レンズのはたらきを実験と併用することによって理解を深める。

三年の単元3で光学機械について学習するとき、復習的に利用する。

中学理科の場合二年に準ずる。

## 3. この映画利用のねらい

日常見馴れているいろいろな光のおこす現象、種々な光学機械の原理は割合に理解しにくいものである。これは実験的に生徒に学習させることもできるが現在の設備や時間に制約されて十分なことができない。この映画は光学現象や凸レンズを中心にして具体的に鮮明に解説しているのので、生徒の理解を深める上に非常に役に立つものである。

## 耳

一巻（一〇分）

一. 単元 三年 科学は通信にどのように応用されているか

（私たちの科学研究）

二年 からだのはたらき（中学理科）

## 二. 内容

### 1. 映画の内容

○われわれの生活と音

○音が聞こえる理由 — 空気分子の振動、耳、神圣衝動

○耳の構造

外耳

中耳（こまく、中耳骨）のはたらき

内耳（かたつむり管、半規管）のはたらき

○聴覚の故障 耳あか、耳管の炎症、中耳炎

○補聴器

### 2. 学習過程の位置づけ

三年の単元に於て音波と耳のとこで音と聴覚の仕組みを理解させる。

中学理科二年の場合も同じ

### 3. 映画利用のねらい

我々の感覚の中で重要な位置を占める聴覚の作用を映画を通して具体的に学習することができる。このようなことは我々の実験では不可能なことであり映画の果す役割は大きい。



# 真空の世界

(一〇分)

一 単元 一年 大気の圧力(気圧)

空気の重さ

三年 交通々信(音の伝りかた)

## 二 内容

### 1. 映画内容

- 空気の存在
- 空気がコップの中にもあることを知るため水の中にふせてみる実験
- 空気にも重さがあることを知る実験
- 空気中と真空中での羽毛と小石の落下の比較実験
- 扇風機による空気の動きと真空中に於ける比較実験
- 電鈴は真空中では伝導しないことを知る実験
- 真空中で缶詰の蓋が飛び出したり缶がつぶれたりする外部圧力と内部圧力の釣合を知る実験
- 沸とう点は圧力によって変化する実験
- 真空中に於ける生物の関係(動物の血液や花について)
- 真空の利用について(鍍金、電子顕微鏡、ペニシリン、

ストレプトマイシン、電球、テレビ等)

### 2. 学習過程の位置づけ

この映画は実験を主として解説しているので理解がとてまよい。私たちがたやすくできる実験もあるが、相当の設備を必要とするので、実験の困難点をカバーするに最もよい

と思う。

○ 一年生の天気と季節 空気と水の単元で大気の圧力、空気の重さの測定など取扱うが空気の存在は知っているが真空の世界をのぞくことは仲々できない。「もし空気がなかったら」と一応考えさせ、話し合いもするがそれ以前にこの映画を単元に入る前に上映し疑問を誘発させてこれを理論的に究明して理解させる。

○ 三年生の通信で音の伝わり方の単元があるが真空中ではどうなるかという前提のもとに上映する。

○ いずれも導入の段階で上映して真空の世界と空気の世界の比較をして部分的に再度利用することが大切である。

### 3. この映画利用のねらい

真空実験は設備その他の関係で仲々困難である。その点

この映画は実験を主としているので理解し易い。

○ 圧力(気圧)は吾々の生活にどんな影響をあたえているか。

○ 気圧と沸とう点の関係

○ 真空の利用にはどんなものがあるか。

○ 真空実験の数々の現象を把握する。

私たちは空気にとりまかれてそのありがたさを認識しないが、真空の現象をよく知ることによって、日常生活であり見られない事実を探究し新しい視野を開拓すると同時にその真空利用の原理について理解させたい。

# 月

一卷(約一〇分)

一 単元 一年 星と太陽

二 内容

## 1. 映画内容

○肉眼と望遠鏡による月のすがた

○月の引力による潮の満ち干へ大潮・小潮の起るわけ

○月の満ち欠け

○月による星の掩蔽

○月の運行と月食及び日食

## 2. 学習過程の位置づけ

○月の運動―自転と公転との関係を理解させる

○月のみちかけ―新月より三日月・上弦・満月・下弦に至る位置的關係と時同的關係を理解させる

○月世界はどんなところかを理解させる

○日食と月食の起るわけを理解させる

○潮のみちひきを理解させる

## 3. この映画利用のねらい。

教室における学習が平面的な説明になりやすく生徒の理解が不十分であり、又、月の表面など夜でなければ見ることが出来ない点などこの映画を利用することに依って十分理解できる。

連続的なうつり変りがよく理解できる。

教科書に出てくる月の教材ほとんどが指導出来る。

# 原生動物

一卷(一〇分)

一 単元 一年 生物はどこでどのように生育するか

三年 科学研究は生物改良にどのように役立っているか。

二 内容

## 1. 映画内容

○水たまり・池・沼・河中に生育する微生物の種類

偽足類鞭毛虫類纖毛虫類等の生態

○原生動物の運動方法について

○纖毛虫類であるゾーリムシの形態

二つの核と収縮胞・栄養摂取の様子について

○ゾーリムシの生理

化学・物理的刺戟に対する反応について

## 2. 学習過程の位置づけ

一年の単元において水中に生育する生物の所で

水草・魚・海の生物・プランクトンに分け学習するがプランクトンの所で利用する。

三年の単元では

動植物の繁殖法の所で分裂法の所と微生物の所とを一語にして映画で説明する。

## 3. 映画利用のねらい

○原生動物の運動方法を理解させる

○水中に生育する種々の生物の理解をさせる

○原生動物の形態と生理について理解させる

# 血液のじゅんかん

一卷(四分)

## 二内容

### 1. 映画内容

- よい品種をえらぶ
- 芽の出かた
- 苗代の芽ほし
- 分げつのふえかた
- 肥料と稲の生育
- 減数分裂
- 受精
- 結実
- 一粒の叔を切ってみる
- 発芽と空気
- 田植え
- 除草剤24-D
- 稲の二化めい虫
- 出穂
- 受精から受精へ
- ゆたかな実り
- 発芽と温度
- 根のはりかた
- 日照と分げつ
- 幼穂の形成
- 開花
- いもち病

### 2. 学習過程の位置づけ

- 身近かな植物(稲)を刻明に観察する科学的方法の理解
  - 植物の発芽に必要な条件を理解させる
  - いねの栄養生長の理解
  - いねの生殖生長(とくに減数分裂、開花、受精と受精)のしかたを理解する
  - 選種、苗代の準備と管理、田植、除草剤、肥料、病虫害の駆除など合理的な稲作のしかたを理解させる
3. この映画利用のねらい
- 心臓の構造や弁の作用、動静脈のつながり即ち毛細管は如何なる風になつてゐるか理解させると共に血液のじゅんかん順序を理解させる。

# 稲の一生

二卷(二〇分)

一单元 中学一年 植物

三年 生物の改良

職業・家庭科 稲の栽培

3. この映画利用のねらい
- 稲の一生を生理、形態的にとらえているから植物の一生の概観に都合がよいから導入として用いるとよい
  - 花粉の生成、受精と受精のところは、細胞の構造のあらましを理解してないとやや程度が高い
  - 解説は平易だが重要な数値が多く出てくるが繰返されなから、メモをとらせるかあとで補説が必要である。

# 火山三原山

二卷 (二〇分)

それに伴う火山形式の相違を知り、噴火が地球内部の様子を知る有力な手がかりである事も理解させる。

## 生きているパン

二卷 (約二〇分)

一 単元 中学二年 食 物

二 内容

1. 映画内容

○ イースト菌は自然界に広く存在する。

○ イースト菌の繁殖と温度との関係

○ イーストによる糖類分解作用(アルコール醗酵)

○ 小麦粉中のグルーテンとパンのふくらむこととの関係

○ イーストの耗培培養と乾燥酵母(又は圧搾酵母)の製造

○ パン製造の手順

○ 酸味のあるパンや糸を引くパンの出来るわけ

○ 微生物を利用して作った食品や薬品の紹介

2. 学習過程の位置づけ

○ 自然界の有用なかび類の作用を理解させる

○ イースト菌の最もよい生活条件の理解培養法(乾燥のしかた)

○ イーストを使ってパンを作る方法の理解

○ 皮質したパンの出来るわけ、雑菌繁殖防止策

3. この映画利用のねらい

○ 人の生活に最も関係深いイーストの性質と上手な利用方法を説明してくれる。

○ 観るものに考える余地を与えない故前に問題を出しておく。

一 単元 一年 地球の表面

二 内容

1. 映画内容

○ 伊豆大島の位置、大きさ、風俗、産業、植物など

○ 昭和二十五年の活動状況 爆発、熔岩流

○ 爆発後の様子

火山弾、火山砕、昇華物、熔岩の稜鏡

○ 安永噴火の熔岩流について

○ 大島の地質

○ 大島の成因

○ 昭和二十六年の活動

爆発、火口附近の様子、熔岩湖、熔岩流、夜影

2. 学習上の位置づけ

一年、地球の表面の中の小単元、火山はどのように活動するかに於て、日本の代表的活火山である三原山の成因を知り、その活動状況を、火山活動の一様式として理解させ、三原山以外の幾多の火山の成因や活動様式を理解させる手がかりとする事が出来る。

3. 映画利用のねらい

○ 大島の概観を知り、過去の噴火の跡、新しい噴火によって三原山がいつ頃できどうして現在のようになったかを知り、三原山の活動状況をはつきりと把握し、火山活動の様式と

# 胃と腸の働き

一巻 (六分)

1. 単元 中二年 私達の食物は自然界のどこから得られるか
2. 内容

## 1. 映画内容

○食道

○胃 消化運動

○小腸 消化吸収作用

○消化液の分泌

○じゅうもろの構造と作用

○大腸の働き

## 2. 学習過程の位置づけ

静止的図鑑により観念的な授業に流れやすいとして理解不  
充分となるそれがレントゲン撮影を通して間接的に観察出  
来る実と理解の段階に利用するなれば効果大である。

## 3. 此の映画の利用のねらい

此の教材フィルムより消化器(主なる)の構造と働きを理  
解し栄養ほどの体に吸収されるかを理解する。

○地球が円いこと  
○地球の自転

ふりこによる説明

○地球と太陽との関係

地球の公転に依る四季の変化

## 2. 学習過程の位置づけ

○自転軸と自転との関係を理解させる。

○太陽の運行と季節——公転 春分、夏至、秋分、冬至

の関係を理解させる

## 3. この映画利用のねらい

中学校に於いては此の映画は地球と太陽との関係即ち地球  
の公転に依る四季の変化を中心に取扱う。  
映写前によく指導しておかないと生徒は地球と太陽との関  
係を理解せずに過すことが多しと思う。

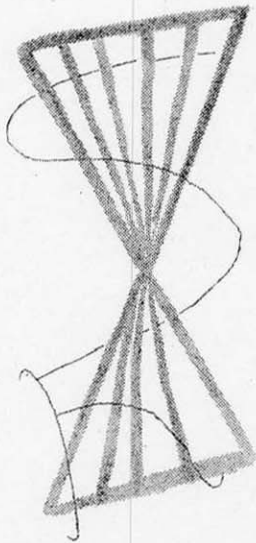
# 動く地球

一巻 (約一〇分)

1. 単元 一年 星と太陽

## 2. 内容

### 1. 映画内容



中  
学  
校  
社  
会

# 機械化は進む

二巻 (二〇分)

一、單元 一年 日本地理(東北地方)

三年 国土総合開発

二、内容

1. 映画内容

○配線と通信の機械化

。発達した通信網を駆使して給電効率を高める状況

。マイクロウェーブ・ディジタル発電機の話し

○電源地帯ダムの保全の機械化

。水底調査のヒコメーター

。自動ゴミとり機(ダム湖上の流木など自動的に片付ける

。工業用テレビ(配電室に居て夜間でもダムの状況を写

し知る)

○故障発見及び排除の機械化

。故障発見の為のテレメーター

。ヘリコプターの活動・保線車の活躍

2. 学習過程の位置づけ

一、三年共に前記単元の導入及び整理として使用すれば

有効である。

3. この映画利用のねらい

多くの人に十分な電力を送る仕事は日一日と機械化されていく。今日も町に電灯がつく。だがそのかけには日々進む新しい科学の力が働いているのだ。

# たんぼの水

二巻 (二〇分)

一、單元 一年 天然資源の愛護(国土の総合開発)

二、内容

1. 千葉県九十九里一帯の農村は、気候温暖、地味肥沃の美

田であるが、水に恵まれず、時々旱魃の被害を被った。

2. 同じ千葉県の佐原地方は、利根川より低い湿地帯で湿田が

多く、排水に悩んでいた。

3. そこでこの両地方の願いである灌漑と排水を綜合した計画

が立てられた。

4. 両用水土地改良事業として仕事が始められたが、工

事の前に地元農民の反対等幾多の問題が起きた。

三、学習過程の位置づけ

小学校にては広く農業の生産に関する学習に、中学校にて

は天然資源の一つである水資源の農業用水についての学習

にて灌漑排水の技術的な面の参考とせず、人々が農業生産

を高めるためにどんな改善を必要とするか、又その間に起

きる社会的自然的条件の問題を包括的に考えさせる資料と

する。

四、この映画利用のねらい

たんぼの水は生産を高める第一条件であるが、その由来をたづねてみると、人々の並々ならぬ努力と犠牲により流れ来るのである。農民や先覚者は如何に努力して来たか又どんな問題が起きるか、かんがいの改善と併用して考えさせる。



# 日本のデンマーク農場

二卷 (二〇分)

一单元 一年 私たちの国土東北日本(東北)

二内容 1. 映画内容

○エミール・フエングラーの計画的な農業経営、四町歩の農地(六区分) 乳頭の乳牛、二頭の耕馬、牛の飼料を中心とした農耕

○農具 北欧風の草刈鎌 種まき機 田おこし機 軽便なカルチベーター

○サイロのある畜舎 衛生的な牛乳をとるための設備

○家庭生活の一場面 酪農によって生みだされた豊富な食料

## 2. 学習過程の位置づけ

○単作地帯について話し合う

分布 生活様式 農業問題

○映画「日本デンマーク農場」をみて今後の日本農業の在り方について討論する

## 3. この映画利用のねらい

○昔のままの日本農業とは逆に土地に支配されるのではなく土地を支配する科学的、合理的な経営の必要を知らせる

○デンマーク農業の性格を知り米作中心の集約農業の形態をとっている日本農業の改善への関心をもたせる。

○単作地帯における合理的な農業経営の必要を知らせる。

# 開発を待つ各地点

二卷 (二〇分)

一单元 一年 天然資源の愛護(国土の総合開発)

二内容

1. 映画内容

○未開発地域の概観(東北、北海道、紀伊、四国、北陸の各河川に包蔵されている水資源について)

○国土の総合開発計画

水害、風害その他の災害の防除 都市と農村の不均衡の調整 産業の適正な立地 電力運輸通信その他重要な公共的施設の配置が必要であること

○各河川の地理的条件と社会的条件による開発の難易

○開発に当って近代科学技術による機械化を知る

## 2. 学習過程の位置づけ

○単元の導入として資源の利用は多目的使用の総合開発が望ましいことを理解させる

○整理として、開発による種々な問題とその解決策を討議させる

## 3. この映画のねらい

開発による復興と産業の発展のためには水力資源の果す役割は誠に大きい。しかし開発は自然的、社会的条件によっていろいろの問題がある。今後の開発には国土の総合開発によって進められることが望ましいことを理解させたい。

# 生活と塩

二卷

一单元 一年 私たちの国土（西南日本）

二内容

1. 父と少年の対談により塩がどんな所に必要であるか
  2. 食用塩と工業塩 塩を必要とする工場  
ソーダ工場 ガラス工場 石けん工場
  3. 吾が国で必要な塩の量と生産高
  4. 日本の製塩法の現状と外国の製塩法の比較
  5. 塩の不足を補う為今後考えねばならぬ根本的な方法
- 三 学習過程の位置づけ

この映画は生産の学習の天然資源に關する分野でつかわれる。あるものが資源として利用される時、その自然的条件が、そのもの利用を左右する。社会がその為、に幾多の問題解決を要請されていると、言うことを塩の場合を例にとつて考へさせる内容には塩の不足と之にもない製塩法改善の技術的な場面が多いが、科学技術的な事より天然資源を利用する場合の自然的条件についての考へ方を学習すべきである。

四 この映画利用のねらい

この映画を見せる前に塩以外の重要な工業製品の原料である天然資源の問題を追求しておき、それ等資源の自然的条件について学習させる為、に、その一つである塩についてそれは一体どのようなしてまかなわれており、今後如何にすべきかについて考へさせる包括的な問題としてこの学習を展開する。

# 首都東京

三卷 (三〇分)

一单元 一年 私たちの国土中央日本（関東）

二内容 1. 映画内容

- 交通機関の発達した東京
- 都心 東京駅、皇居、国会議事堂、国会図書館、大使館
- 都庁、銀行、丸ビル、日比谷公園
- 商業地区 劇場、ホテル、銀座、日本橋通りのデパート
- 文教地区 大学（明治、中央、日本、東京、慶応、早稲田）
- 神田の古本屋と有名な書店
- 靖国神社、後樂園、護国館、博物館、図書館
- 美術館、動物園、上野駅
- 下町 工業地帯、東京湾、羽田飛行場、隅田川、汐留駅、浅草
- 山手 住宅地帯、都営アパート、新宿、渋谷、池袋、明治
- 神宮外苑、神宮競技場、プール
- 躍進する東京と今後の問題
- 2. 学習過程の位置づけ
- 首都東京のある関東地方について話し合う
- 映画「首都東京」をみてどんな問題があるかあげてみる。
- 東京と他地域との結びつきについて話し合う。
- 都市計画ということについて先生から話を聞く
- 3. この映画利用のねらい
- 東京が首都としての風格をもっていることを理解させる。
- 東京が政治、経済、交通、文化の中心であることを理解させる。

○東京の都市構造について理解させる

## 通貨

二卷 (二〇分)

一单元 三年 私生活と経済生活(通貨)

二内容

1 映画内容

○貨幣の歴史(日本及び外国)

○貨幣の種類(日本銀行券及び小切手など)

○日本銀行券が出来上るまで

○通貨の流通(日銀→市中銀行・日銀→政府小切手)

○社会経済状態と通貨

・国債・デフレ・インフレ経済の話し

・日本銀行券発行高についての話し

・預金の重要性についての話し——子供銀行

2 位置づけ

三年の経済生活についての学習の中の生産と流通の政治と経済の小单元で導入及び整理として利用すると有効である。尚一回だけでは充分認識できないから二回映写すれば明確となる。

3. この映画利用のねらい

貨幣と私たちの生活が如何に密接な関係にあるか

貨幣の流通がうまくゆけば国民生活も豊かになる。しかし

これが一部の人にかた寄ってしまえば貨幣はかえって国民を不幸にするものである。

## 新風土記

三卷 (二五分)

一单元 中学一年 日本の地理 北陸の風土 産業

二年 日本の産業革命

三年 生活と文化

二内容

1. 映画内容

○北陸地方 諸都市(金沢福井高岡を中心とした)歴史的發展

○伝統に培われた郷土産業の数々(漆器銅器陶器売薬)

○凡土的特徴(河川の氾濫)(湿田地帯)

○河川利用→発電所→近代工業→新しい労働者

2. 学習過程の位置づけ

○導入の場合 どの問題があるかを発見させる

○古い歴史のあとをさぐる

○単作地帯の実態を知る

○新しい工業地帯の発生 発展過程を知る

○整理の場合

○問題の確認をする

○その問題をどのようにして解決したりまたしようとして

ているか

○地域(自分たちの生活している)との共通の問題を考

えてみる

3. 映画利用のねらい

○「ところかわれば品かわる」というが、それがちがって

いるのは、その土地の自然の中でよりよい生活を願って自然をつくりかえ、工夫してきた先人の努力の所産であることを知らせる。(特産品)

○単作地帯の実態をよく知る。湿田の状況、河川改修工事にその土地の娘、女が働かねばならぬ状況、売葉菜、出稼ぎ(男)という点に注目させる。

○古き姿がどのようにつくりかえられつつあるか、

丸谷焼の焼き方、売葉(丸葉)のつくり方、仏具の作り方がかわってきているのは何に原因するか、(電力の利用)を充分考えさせる。

○古い生活の中にも新しい時代がきずかれていく、その新しい時代をきずくのは誰かをよく考えさせる。

○土地(自然)も一年、いや毎日動いていく(変っていく)それを動かし、変えていくのは誰かを考えさせる。

## 月の輪古墳

### 一、単元 「古墳時代」

#### 二、内容 1 映画内容

○飯岡村という所

○郷土の文化を守ろうとする動き

○月の輪古墳発掘計画

○発掘に対する民衆の参加

○発掘作業の拡大とその困難の打開

○発掘された古墳の概況(施設構造服装品)

2 学習過程

○古墳(月の輪)について

古墳とは、何時だれが、どんな所にどういう考えから、何如なる方法で造られたか

○発掘について

どうゆう人達の手によって、どんな目的で、どのようにして始められ、どのように拡大していったか

○多勢の人達の発掘に対する努力と苦心

○発掘の成果

内部外部構造、埋葬状態、副装品等

○郷土への認識の高まりについて

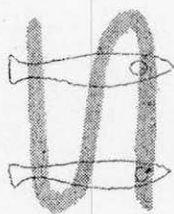
3 この映画をみるについての注意

○古墳の完全なる発掘方法の終始をよくみる

○字看、先生たちと生徒、農民、労働者特に婦人たちの自発的な目的をもった大衆の参加の意義を注意する

○郷土の歴史への理解の高まり(字向と民衆との結びつき、郷土と民衆とのつながり)

○文化財を大切にすると共にやたらに発掘しない



## ライフレリーだより

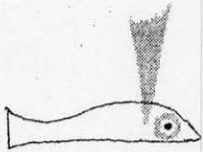
## あとがき

長い向の懸案だった学校ライフレリーの独立が、ようやく達成されて、此の程美川中学校に移りました。正面玄関の購売室の一区画を借用し、目下整備中であります。尚運搬車の車庫も建築中であります。就いては今後フォルムの借用等一切美川中学校宛御連絡下さい。此の機会に左記のことごとらについてお知らせ致します。

### 記

1. 北辰大型映写機一台を最近購入し、既有的の小型一台と併せて二台となりました。
2. 運搬車としてトヨペット・トラック（五二年後期）を購入して八月初旬より活動しています。
3. フォルムの借用に当っては、フォルム名によらず、本目録のフォルム番号によって下さい。
4. フォルム、映写機の借用は電話連絡によります。
5. 借用証、返済証の手渡しは、各校でフォルム、映写機等を受けたら、返済される時にお願ひ致します。

※美川中学校 電話 一八九八番



わずかながらも年と共に充実してゆく視聴覚ライフレリーの施設と平行して、今度小中学校の社会科、理科の先生方の御協力によって私共がまえまえから望んでおりました教材映画フォルムの手引といえますか。解説資料が一応完成致しました。

勿論こゝに書かれた資料が学習効果を最上にするものでもなく、又使用する場合にも、もっと有効な方法があると思います。しかし私共は毎日多忙の中を教材研究の一助として手軽に利用していただけたら、との念願からこの資料となつたのでありましてどこまでも試案としての参考スランでござります。

編集にあたって感じたことは、小学校社会科カリキュラムのように全市統一された基底単元がぜひ必要であると思ひます。カリキュラムの中に視覚化がなされ学習の上はこの映画を、このように利用すればより効果的であるというように、計画的に使用されてこそはじめて教育的な利用ということが言えましよう。

次に視聴覚研究は学習指導の一環であつて、各教材の学習教材としてもっと多くの先生に関心をもつていただきたい。視聴覚部はサービス機関として各教科と一体となつて育てなければならぬと思ふ。

ともあれ休むことなく生徒の学習活動の歯車は廻転している。精々これらの映画を御活用下さることを願ひします。

「視聴覚教育」 特集号

昭和三〇年九月一日 発行

編集 視聴覚教育協会 調査部

発行 岡崎市小中学校

視聴覚教育協会

印刷 岡崎市明大寺町

ブラザー孔版社